

2021年8月 (No.386)

主な内容とページ

リーマン後の3割成長の再現なるか？	1
第2四半期の世界出荷、最高更新	2
リーマン後の再現なるか	3
実態から遊離する半導体生産統計	4
世界主要半導体企業 36社第2四半期 34社増収、29社増益	5
米半導体大手、第2四半期は記録更新、品不足により利益増大 ...	10
半導体の製造支援に520億ドル	10
技術者目線と市場、消費者目線(SRL だより)	13

リーマン後の3割成長の再現なるか？

半導体市場が過熱している。今年の成長はリーマンショック後の3割成長の再現が焦点となりそう。

1. 第2四半期の半導体の世界出荷は前年同期比で3割以上の増加。勢いは続行しており、今年
は3割前後の成長の可能性が出てきた。
2. 特に電気自動車の伸びが強い欧州、これまで余り注目されなかったアナログ IC など高い伸び
を見せている。メモリ以外は成長続きで、伸び切っており、供給が追いつかない。
3. 日本もブーム到来だが、世界に比べて伸びは小さく、控え目だ。

技術者目線と市場、消費者目線

技術の進歩は著しく、自動運転、ロボット、VR(仮想現実)、クラウド・サーバー、新エネルギー、宇宙旅行等々かつては夢だったものが、現実のものとなりつつある。これらを実現するための技術は広範多様で、巨大に融合が行われている。また、新技術や手法も続々と登場、ゴールドラッシュの再現を彷彿させる。

そこで感じるのが、技術と市場あるいは消費者の息が合うかどうか。新たな技術がうまく市場で活かされ、社会で役立つかということである。目線という表現が使われるが、技術者での目線だけではなく、市場あるいは消費者まで意識しているか。それによって技術の評価、価値が左右されるのではないだろうか。

わが国は材料や製造技術など個々には素晴らしい技術があるが、それを価値づけるのは、充分ではないと思う。よく言われるのは個別最適ではなく全体最適にしてより価値を高める。それには技術者が目線を市場やユーザーにも置いて役割、貢献を明確に打ち出す。価値を意識、磨かない手はない。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2021 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2021 年 8 月(毎月 1 回発行)第 32 巻 8 号(通巻 386 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

August 2021, No.386

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2021

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)